



守口小だより

令和2年7月17日

第11号

守口市立守口小学校

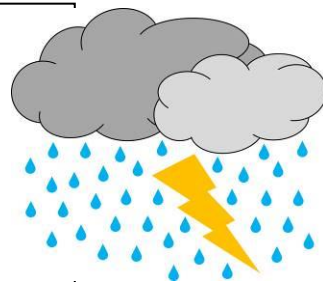
発行者 横山 美香

雨の日が多く続いています。守口市でも急な大雨や強い風が吹くことが多くなっているように思います。子どもたちの育てているミニトマトも強い風に吹かれ、斜めにたおれかけていることがよくあります。下校時に急な雷雨や突風など天気が急変したときは、下校をしないで待機させることもあります。

その際は、待機中であることをミマモルメで連絡いたします。

登校時大雨や雷などで危険があるときは、子どもたちの安全のためにしばらく登校を見合わせることも必要かと思いますので、適宜判断していただきますよう、よろしくお願いいたします。

晴れた日には、セミの鳴き声が聞こえてくるようになりました。低学年の子どもたちは、セミやセミの抜け殻を手に載せて、見せにきてくれます。梅雨明けは待ち遠しいですが、次は、暑さで熱中症が心配になる季節がやってきます。さまざまな災害を想定し、対応をしていけるようにしていきたいと思えます。



◎トイレの改良工事を行います。

今年度、学校環境の向上にあたり、トイレの改良工事が行われます。配管からやり直す全面的な改修工事です。

校舎ごとに全面改修するため、工事期間中は、対象の校舎のトイレは、すべて使用できなくなります。仮設トイレを設置してもらいますが、しばらく、子どもたちは、教室のある階にトイレがなくなるため、違う校舎や仮設トイレまで行かなくてはなりません。また、工事に関しては、平日作業があるためトイレ前の廊下を囲うなどして入れないようにして、安全に配慮してもらいます。大きな音の出る作業は土曜日を中心に行い、授業中はできるだけ音を出さないようにしてもらう予定です。

保護者の皆様がご来校の際も、ご不便をおかけすることがございますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

◎トイレ改良工事の日程等

工事期間：令和2年7月20日から令和3年3月22日まで（予定）

作業時間：平日・土曜日 8時～18時

発注者：守口市（教育委員会 教育部 学校管理課）

施工業者：株式会社 中道組

*7月20日～ ⇒北運動場の北校舎沿いに資材置き場等の囲いを作ります。

*7月22日～11月30日（予定） ⇒北校舎、特別教室棟、管理棟、プールのトイレ

*12月1日～3月15日（予定） ⇒新校舎、体育館棟、南校舎



教室や廊下の掲示板です



1年生
新館1階に掲示しています。顔のついた短冊を各自で作し、それぞれの願い事を書きました。願いがかなうといいですね。



2年生：ふしぎな卵が割れました。中からいろいろなものが飛び出しています。



3年生：絵の具で描いた紫陽花。教室の後ろに美しく咲いています。



4年生：自分の運動靴を描きました。本物そっくりに描けています。



6年生：線対称な鬼の顔。教室の後ろからたくさんの鬼が、みんなを見つめています。



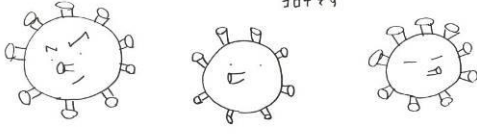
5年生：鏡を見ながら自分の顔を描きました。そっくりに描けています。

 日本赤十字社
new red cross japan

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～

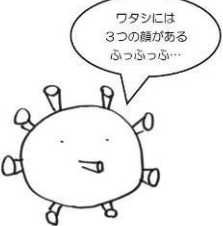
新型コロナウイルス



1

新型コロナウイルスによる感染が流行しています。

ワタシには3つの顔があるふっふっふ...

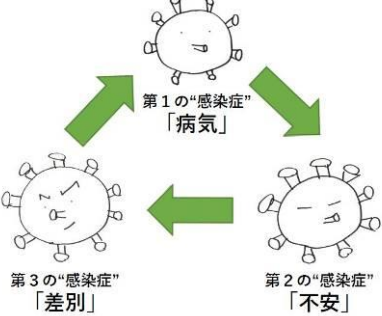


実はこのウイルスが怖いのは、**「3つの“感染症”」**という顔があることです。

知らず知らずのうちに私たちも影響を受けていることをみなさんはご存知ですか？

2

3つの“感染症”はつながっている



ひとりひとりが気を付けないとワタシはこうやって力をつけていくよ...

3

ウイルスがもたらす**第1の“感染症”は病気そのものです**

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。

感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

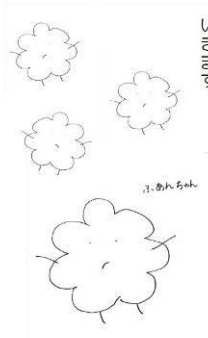


4

ウイルスがもたらす**第2の“感染症”は不安と恐れです**

このウイルスは見えませんが、ワクチンや薬もまだ開発されていません。ワクチンやわからないことが多いため、私たちは**強い不安や恐れ**を感じ、ふりまわされてしまうことがあります。

それらは私たちの心の中でふくらみ、**気づく力・聴く力・自分を支える力**を弱め、瞬く間に人から人へ伝染していきます。



5

ウイルスがもたらす**第3の“感染症”は嫌悪・偏見・差別です**

不安や恐れは人間の**生き延びようとする本能**を刺激します。

そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。



6

なぜ、嫌悪・偏見・差別が生まれるのか

見えない敵（ウイルス）への**不安**

特定の対象を見える敵と見なして**嫌悪**の対象とする

嫌悪の対象を**偏見・差別**し遠ざけることでつかの間の**安心感**が得られる



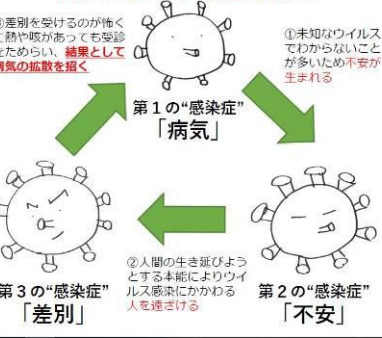
7

特定の人・地域・職業などに対して「危険」「ばい菌」といったレッテルを貼る心理によって差別や偏見はおこります。



8

負のスパイラルで“感染症”が広がる



この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながるのです。

3つの“感染症”はどうつながっているの？

9

皆さんも、ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていたり、なにかとウイルスに結び付けて考えたりしていませんか？

「あの人が咳してる・・・コロナなんじゃない」「あの地域はコロナが流行っているからあそこものを買わないほうがいいよ・・・」「熱があるけど怖いから黙っていいよ・・・」

このように思い、行動することから“感染症”は広がっていきます。

これらの“感染症”をふせぐために、私たちはどのような工夫ができるでしょうか？



10

第2の“感染症”に ふりまわされないために

不安や恐れは私たちの

気づく力

聴く力

自分を支える力

を弱めます。
不安や恐れは身を守る為に必要な感情ですが、私たちから力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。



12

第1の“感染症”を ふせぐために

1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

「手洗い」

「咳エチケット」

「人混みを避ける」

など、

ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。



11

第2の“感染症”に ふりまわされないために 聴く力を高める

いつもの自分と違う所はありませんか？

・ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていませんか？

・なにかと感染症に結び付けて考えていませんか？

・趣味の時間や親しい人との交流が減っていませんか？

・生活習慣が乱れていませんか？

普段と変わらず続けられることはありますか？



第2の“感染症”にふりまわされないために

気づく力を高める

まずは自分を見つめてみましょう

・立ち止まって一息入れる。
(深呼吸、お茶を飲む)

・今の状況を整理してみる。

・自分自身をいろいろな角度から観察してみる。
(考え方、気持ち、ふるまいなど)



13

第3の“感染症”を ふせぐために

不安を煽ることは病気にに対する偏見や差別を強めます。

・「確かな情報」を拡めましょう。

・差別的な言動に同調しないようにしましょう。



第2の“感染症”にふりまわされないために

自分を支える力を高める

自分の安全や健康のために必要なことを見極めて自ら選択してみましょう

・ウイルスに関する情報にさらされるのを制限し、距離を置く時間を作る。

・いつもの生活習慣やペースを保つ。

・心地よい環境を整える。

・今自分ができていることを認める。

・今の状況だからこそできることに取り組んでみる。

・安心できる相手とつながる。



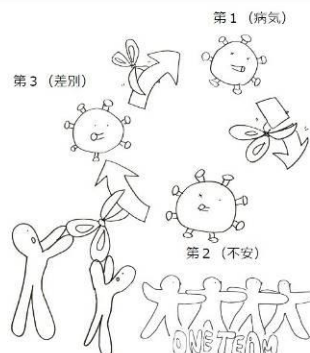
15

まとめ

このように、新型コロナウイルスは、3つの“感染症”という顔を持って、私たちの生活に影響を及ぼします。

このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。

それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう！



18

第3の“感染症”を ふせぐために

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

・小さな子どものいる家庭

・高齢者

・治療を受けている人とその家族

・自宅待機している人

・医療従事者

・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々に
ねぎらい、敬意を払いましょう。

17

12日に「大阪モデル」のステージが「グリーン」から「イエロー（警戒）」に移行しました。イエローになったことにより、教育活動については「感染リスクの高い活動（近距離での活動、合唱・管楽器演奏等）」について、感染症対策の徹底をすること」の通知がありました。感染症の対策は継続して行っています。7月に入って、大阪府においても府立学校や府内の小学校などで子どもや教職員の感染者が出ています。感染者が出ると、基本的には、わかった時点で速やかに下校し、（状況に応じて）おおむね3日程度の臨時休業となる方向性が示されています。学校は、保健所や守口市教育委員会と連携をし、対応を決定していきます。現在、いつ、だれがどこで感染するかわからない状況です。上記の日本赤十字社の資料のように、「病気」、「不安」、「差別」の3つの“感染症”をふせぐために、それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう。